

学校だより 12月号

令和4年12月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL <https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

目標達成への道のり 準備と努力の継続の大切さ

校長 棚澤 大輔

11月21日・22日に、鎌倉・箱根方面への6年生修学旅行を実施いたしました。両日とも素晴らしい天気恵まれ、全員参加のもと、すべての行程を滞りなく進め、たくさんの思い出をつくって帰校しました。何百年も前から続く歴史を感じた鶴岡八幡宮や大仏、小田原城。そして、日頃見ることのない海や日頃見ているけれどいつもより大きく見える富士山などの自然からは、人の歴史より長い、悠久の歴史を感じることができました。

さて、今年は4年に1度のサッカーワールドカップが開催されています。日本代表チームも激戦のアジア予選を通過し、本大会をまさに今、戦っているところです。初戦のドイツ戦、2戦目のコスタリカ戦と、テレビの前で手に汗握って観戦をしている方も少なくないのではないでしょうか。

サッカーワールドカップと言えば、私にとっては今から30年ほど前の「ドーハの悲劇」が思い出されます。日本のワールドカップ初出場がかかった最終戦において、最後の最後で同点に追いつかれ、夢のワールドカップ出場が絶たれてしまった試合でした。しかしその後も日本サッカー界は夢への挑戦を諦めることなく、4年後に見事初出場を果たすこととなります。

そして今年は、30年前に悲劇の舞台となったカタールのドーハで、日本は7大会連続のワールドカップに出場し、さらには初戦で強豪ドイツを破ったことを指して、「ドーハの奇跡」という言葉も目にしました。

しかし、翌日、監督や選手の試合後のコメントを聞いて、これは「奇跡」ではなかったのだなと感じました。「今までチームのみんながしっかりと準備をして、粘り強く戦った。」「4年半前から今日のために全力で準備してきた。やってきたことは変わらない。それが結果につながった。」とお話されているのを聞き、今回の勝利は、勝つという目標を達成するために、一人ひとりが何をすればよいのか考え、その考えのもと準備と練習を積み重ね、仲間とよく話し合い、監督や選手、そしてそれを支える人々が自分のやるべきことを毎日怠らず取り組んできた結果なのだと思います。

「やるべき準備をしっかりと行って本番に臨むこと」と「目標に向かって練習を続けること」。このことは、学校でも普段の学習や行事を通して、子どもたちに指導していることです。準備や練習を続けるということは、言葉にするのは簡単ですが、実際に行うには難しいことでもあります。その時々で子どもたちの取組の様子を見て声をかけ、励ましの言葉をかけ、時には手助けをし、頑張り続けることができるよう支援していくことが、大人の役割です。

小谷小学校では先日、校内持久走大会を行いました。持久走はちょっと練習したところで簡単に伸びるものではありません。体育の授業はもちろん、毎週のきらきらタイムで走り続けてきたことの成果として、多くの小谷っ子が自分の目標や自己記録の更新を達成することができました。一人ひとりの大会に向けての準備と努力の継続があったからこそその結果です。また、保護者の皆様には、日頃の健康管理をはじめ、時には励ましの言葉がけもかけていただいていたものと思われまます。子どもたちの取組を支えていただきありがとうございます。こうした取組の積み重ねにより、小谷っ子は日々成長を続けています。

保護者や地域の皆様方におかれましては、子どもたちの日々の頑張りの成果への称賛とともに、そこに至るまでの頑張りを認める言葉がけをあらためてよろしく願いたします。

